

# 平成29年度第1回成田市保健福祉審議会子ども・子育て支援部会 会議結果概要

## 1 開催日時

平成29年8月2日（水） 14:00～15:03

## 2 開催場所

成田市役所 6階 大会議室

## 3 出席者

(委員)

中村委員、高木委員、山崎委員、青木委員、根本委員、小林委員、小泉委員、浅井委員

(事務局)

健康こども部：五十嵐部長

子育て支援課：菱木課長、藤崎課長補佐、高仲係長、内田主任主事

保育課：岡田課長、宮崎主幹、小瀬澤係長、柴田係長

健康増進課：田中課長、中村係長、安西係長

社会福祉課：町田課長

## 4 次第

- ・開会
- ・委嘱状交付
- ・市長あいさつ
- ・委員紹介（自己紹介）
- ・事務局紹介
- ・部会長・職務代理者選出
- (市長退席)
- ・議題 (1) 子ども・子育て支援に関する現状と取組について  
(2) 利用定員の設定について
- ・閉会

## 5 配布資料

- ・会議次第
- ・「資料1 子ども・子育て支援に関する現状と取組について」の訂正について
- ・資料1 子ども・子育て支援に関する現状と取組について

- ・資料2 利用定員の設定について

## 6 部会長・職務代理者選出

・成田市保健福祉審議会設置条例第7条第3項の規定により、委員の互選で青木委員が部会長に選出された。

・成田市保健福祉審議会設置条例第7条第5項の規定により、青木部会長の指名で中村委員が職務代理者に選出された。

## 7 議事

### ○議題（1）子ども・子育て支援に関する現状と取組について

（資料1に基づき事務局から説明。主な質疑応答等は、以下のとおり。）

部会長：中島医院の協力のもと、病児・病後児保育施設の整備に係る協議を行っているとのことだが、平成30年度に確実に開所できるのか。

事務局：平成29年度の予算で施設整備に係る予算取りをしており、国の補助金も活用する。国の補助金のスケジュールに合わせてということになるので、開所日程については先が見えない部分もあるが、確実に整備を進めていく。

委員：平成29年4月1日に開所した家庭的保育事業所「なりた おうちほいく わたぼうし」について、資料の事業者欄に記載されている男性の方が保育に携わっているのか。また、ご自宅で保育をされているとのことだが、市の方が定期的に見に行き、保育環境を調査するといった体制は整っているか。

事務局：家庭的保育事業については、部屋の面積や設置すべき設備など、国が示した基準があり、それに則って事業を実施している。開所にあたって改修工事を実施しているため、改修工事終了後に職員が現地に行き、基準を満たしているかという確認を行っている。また、「なりた おうちほいく わたぼうし」では事業者の赤川和之氏が子育て支援員研修を修了した保育士、すなわち家庭的保育者として保育にあたっているが、赤川氏1人で保育を行っているわけではなく、保育士資格を有する女性の家庭的保育補助者がいらっしや、2人で保育にあたっている。

委員：児童ホームを使える児童に要件はあるか。また、例えば成田附属小学校に通っている小学生が、成田小学校の児童ホームを利用するこ

とは可能か。

事務局：成田附属小学校に通う小学生が、成田小学校の児童ホームを利用することは可能である。また、児童ホームの入所の条件については、保育園と同様で、保護者が就労しており、放課後に1人で留守番しなければならないような場合に入所していただいている。

委員：夏休みの児童ホームの運営はどのような形になっているか。

事務局：夏休み等の長期休暇の場合は、朝7時30分から夜7時まで開所しており、長期休暇のみ児童ホームを利用したいという学童の受け入れも行っている。

部会長：夏休みの児童ホームにお休みはあるのか。

事務局：日曜・祝日はお休みしている。

委員：病児・病後児保育施設に子どもを預けるときの利用の条件等について教えてほしい。

部会長：利用にあたっては事前に予約等が必要なのか。子どもの体調が急に悪くなった場合、その当日に利用することはできないのか。

事務局：基本的には、事前登録をしていただき、使いたい前日に利用予約をしてから使ってもらう形となるが、施設の定員に空きがあれば、当日でも利用することができる。

委員：成田ナーシング保育室について、利用人数の実績はどのくらいか。

事務局：成田ナーシング保育室については、4月11日からの開所であり、市内利用者の利用人数の実績は、4月7名、5月8名、6月27名となっている。

委員：私は、なのはなクリニックで子どもの予防接種を受ける時に、たまたま病児保育室ゼフィルスの存在を知った。保育園や幼稚園その他の場所でアピールしないと、病児・病後児保育施設というものがあるという情報が保護者に入ってこない。今後、もっと分かりやすいとか、気づきやすいアプローチをしていかれてはいいか。

事務局：市としても病児・病後児保育施設を広く周知したいと考えており、広報なりた、市のホームページ、子育て応援サイトで周知を行っているほか、昨年度は保育園・幼稚園にチラシを配布したところである。こういうことを繰り返しながら周知を図っていきたい。

## ○議題（2）利用定員の設定について

(資料2に基づき事務局から説明。事務局説明のとおり、認可保育所及び小規模保育事業所の利用定員の設定について了承される。主な質疑応答等は、以下のとおり。)

部会長：利用定員を減らすことに伴い、保育士も減ることとなるのか。

事務局：今回の利用定員の変更に伴い、保育士の雇用を打ち切るとか、そういうことはない。

## ○その他の質疑応答

委員：成田市の待機児童ゼロになったということで大変努力をされたことと思う。幼稚園については、全体としては入園者が減っている状況である。様々な施設ができ、保護者の選択肢が増えたことや、0歳から2歳の子供を預かってほしいという要望が高まっているということもある。今後、様々な施設が、競合ではなく、共存していけるような、成田市全体の体制ができていければと考えている。幼稚園では、預かりの時間を拡大したり、朝の時間を拡大したり、園によっては2歳児のプレ保育を検討しているところもある。国からも2歳児の受け入れ推進についてという要望が来ているところであり、市としても幼稚園を含めて相談というか、そういったことができるといいなと考えている。

事務局：市民満足度調査や、成田市子ども・子育て支援事業計画を作成する際の市民へのニーズ調査では、子どもたちへの教育を、という声が圧倒的に多かったと記憶している。これまでは量の拡充ということで待機児童解消に向けて施設整備を進めてきたが、今度は質の向上ということで、保育園や幼稚園を利用している人だけではなく、利用していない人にも目を向けて子育て支援サービスを提供していきたいと考えている。また、話は変わってしまうが、小規模保育事業所等に通っている0～2歳児の卒園後の受け入れ先について、3～5歳児を対象とする幼稚園とする構想もあったが、母親たちの働きたいという意識の高揚もあって、うまく仕組みが成り立たなかった。市としても小規模保育事業所等の卒園後の受け皿となる連携施設の設定については、頭を抱えているところなので、今後、そういったところもご相談させていただければということも考えている。

委員：私は高岡保育園の近くに住んでおり、高岡保育園の入り口の道路について、送迎が集中する時間帯は非常に危ないと感じている。近隣に旧高岡小学校の敷地もあるが、どうにか対応できないか。

事務局：高岡保育園の入り口の問題については、平成28年度に私どものほうにも、道路が狭いので拡幅できないかというお話をいただいた。道路担当課と協議した結果、道路の拡幅については難しいということであった。そこで、旧高岡小学校をお借りし、保護者の方の送迎は、そちらを使っていただくようお願いしている。ただ、どうしても車が集中してしまう時間帯があるので、その際は職員が交通整理をして対応している。

委員：園の保護者の方は、旧高岡小学校を利用できるということをご存知か。

事務局：周知をし、旧高岡小学校を使うようお願いをしている。

委員：成田市内でも、こども食堂が行われているが、市で応援や協力をする考えはあるか。

事務局：こども食堂については、孤食の問題や貧困家庭の対策として始めたものや、お子さんもお年寄りもみんなで一緒にご飯を食べようというコミュニティ的な要素のものなど、色々なパターンがあると聞いている。市としてお手伝いできるところは考えているところだが、国から基準等が示されていないので、すぐに市がお手伝いや補助をするということは考えていない。

委員：先日、他の保育園の園長先生と話をする機会があり、その際に、7月に国の基準による待機児童がゼロになったが、春頃から、子育て支援センターの利用者が減ってきたという話を伺った。前年度末から今年度初めにかけての、子育て支援センターの利用者数はいかがか。

事務局：今年度に入り、三里塚なかよしひろばは、利用者数が伸びているという手応えがある。公津の杜なかよしひろばは、かなりの数の利用者がいる。子ども館については、昨年9月から今年の2月まで工事を実施し、工事期間中は男女共同参画センターや生涯学習会館で事業を行ったところであり、他施設で事業を行ったことによる一時的な利用者数の減少はあったが、春からは利用者数が回復している。

事務局：三里塚なかよしひろばの利用者数について補足説明をさせていただきたい。まだ実績は上がってきておらず、現場から聞いた話なのだが、7月に三里塚地区に三里塚みらい保育園ができ、三里塚なかよしひろばの利用者数が若干減っているという声があった。常連さんが保育園に通うようになって来所の頻度が減って来たとか、そういう状況はあるようである。7月の利用者数の実績が上がってきたら、

数字でお示しできると思う。公津の杜なかよしひろばは、今のところそういった声はない。

## 7 傍聴

傍聴者 1人